

リスク部会報（第11号）

2023年3月発行

目次

- (1) 第11回リスク部会全体会議@「日本原子力学会2022年秋の大会」の報告
- (2) 「日本原子力学会2022年秋の大会企画セッション」の報告
- (3) リスク部会賞（奨励賞）の授与について（企画・研究小委員会）
- (4) ASRAM2022の開催報告（国際小委員会）
- (5) リスク情報の活用にかかるご意見を募集します
- (6) 令和5年度リスク部会運営体制（役員名簿）
- (7) 今後の活動
- (8) 編集後記

(1) 第11回全体会議@「日本原子力学会2022年秋の大会」の報告

<http://risk-div-aesj.sakura.ne.jp/meeting.html>

2022年秋の大会3日目にリスク部会の全体会議が開催されました。以下に会議録を示します。2023年春の年会において第12回の全体会議を開催いたしますので、武会員の皆様の参加をお待ちしております。

日時： 2022年9月9日（金）12:05～12:50

場所： 茨城大学 日立キャンパス J会場 (E1棟 4F 42番教室)

議事：

1) 開会挨拶：成宮部会長

- 2021年9月の全体会議より2代目のリスク部会長を務めている。
- リスク部会は現在、300名を超える方々に部会員になっていただいております、学会の中でも所属人数の大きな部会である。
- 1F事故以降、リスクへの対応が重視され、とくにPRAの実施が叫ばれた。リスクインフォームドにより対策を考えていくことが実現し積み重ねられれば、安全性向上に効率よく到達し継続して取り組んでいけると考えている。
- リスク部会発足時の活動方針にも示した通り、リスク部会としては、最新の手法や事例の紹介、関連情報の共有、国際的な発表・意見交換の場の提供、などを工夫しながら、リスク評価手法の開発、リスク情報の活用の活性化に資する活動を積極的に展開していく。
- 2022年度は、ウィークリーウェビナー、ASRAM2022、リスクコミュニケーションのセミナー等を計画している。また、実務の基準になる安全目標について、当部会と原子力安全部会との共同WGを考えている。今後、議論を進めていきたい。

2) 運営委員の変更：成宮部会長

- 副部会長に白井様が就任されることについて、異議なく承認が得られた。
- 総務・財務小委員会では桜本様が新任されることについて、異議なく承認が得られた。
- 企画・研究小委員会では今井様が再任されることについて、異議なく承認が得られた。
- 広報・出版小委員会では蛭沢様の所属変更及び當房様が新任されることについて、異議なく承認が得られた。

3) 2021年度下半期活動実績／2022年度活動計画：各委員長（または代理）

- 各小委員会より、2022年度上半期活動実績／2022年度下半期・2023年度活動計画について報告があった。

- 総務・財務委員会より、予算計画については、講演・セミナー会場代等は予算化しているがオンライン開催等により支出が発生しない可能性があるとの説明があった。
- 企画・研究小委員会より、2022年秋の大会の企画セッション「PRAの高度化の活動」について説明があった。また、リスクコミュニケーションのシンポジウム（12/16）、2023年春の大会・秋の大会の企画セッションの計画について報告があった。
- 企画・研究小委員会報告に併せてリスク部会奨励賞の表彰があり、受賞者である東京都市大学松丸氏、東芝エネルギーシステムズ株式会社瀬部氏が表彰された。
- 国際小委員会からは、PSAM16開催及びASRAM2022開催準備の協力を行ったこと、また、今後のASRAM2022開催及びASRAM2023開催準備の協力予定について報告があった。
- 広報・出版小委員会からは、部会報、ニュースレター（ASRAM2022特集）の発行状況、また、今後の部会報、ニュースレター、HPコンテンツの充実予定について報告があった。

4) 質疑応答

- 立ち上げを検討している研究専門委員会についての具体的な内容について質問があった。丸山副部長より、昨年まで活動していた研究専門委員会で取りまとめて頂いた提言をできるだけ活用していきたいとの回答があった。また、成宮部長より、全般にわたって内の状況をまとめていくことになる想定しているが、PRAはリスク部会だけが扱うものではなく、多くの方が携わることで安全性が向上されることを念頭に置いて検討を進めるとの回答があった。
- 山口先生にリスク部会顧問として今後ともご指導いただくことについて動議があった。成宮部長より、部長退任以降も、山口先生には引き続きご助言いただけてきており、是非お願いしたいとの回答があった。

5) 閉会挨拶：喜多副部長

- 成宮部長より、お忙しいところ全体会議にご参加いただき感謝する旨ご挨拶をいただいた。

(2) 「日本原子力学会2022年秋の大会」企画セッションの報告

<http://risk-div-aesi.sakura.ne.jp/seminar.html>

2022年秋の大会3日目にリスク部会主催の企画セッションが開催されました。以下に概要を示します。発表に使用された資料や議論の詳細など、部会のHPに情報がありますので、ぜひアクセスください。2023年春の年会においても部会の企画セッションを行いますので、こちらもぜひご参加ください。

セッション名：PRAの高度化の活動ーリスク情報の活用に着目したPRAの改善ー

日時： 2022年9月9日（金）13:00～14:30

場所： 茨城大学 日立キャンパス J会場（E1棟4F42番教室）

参加者：32名

座長：（JAEA）丸山 結

PRA高度化の活動やリスク情報の活用に着目したPRA改善の最新動向として、電中研におけるPRA高度化に関する取り組み、四国電力における伊方3号機のPRA高度化、東電HDにおけるPRA高度化から見えてきた課題について紹介があり、質疑応答を行った。質疑応答においては、海外専門家との連携、原子力学会標準の要求について、モデル追加機器の選定理由などについて議論を行った。

【内容】

- ① PRAの高度化に関する電中研 NRRCの取り組み（桜本 一夫；電中研）
- ② 伊方3号機におけるPRAの高度化について（橋本 望；四国電力）
- ③ PRAモデルの高度化から見えてきた課題（羽佐田 剛；東京電力HD）
- ④ 質疑応答

（敬称略）

（3） リスク部会賞（奨励賞）の授与について（企画・研究小委員会）

リスク部会では、原子力施設のリスク評価分野における若手研究者・技術者（40才以下）の奨励を目的として、本分野の研究・技術開発等にかかる活動の成果を「秋の大会」または「春の年会」で発表し、その内容が学術的・技術的に優れていると認められる発表に対してリスク部会賞（奨励賞）を授与しています。4回目となる「2022年春の年会」での発表においては、リスク部会長を委員長とした選考小委員会による厳正な審査に基づいて、以下の2名に奨励賞を授与することを決定し、2022年の秋の大会で表彰状及び副賞の盾を贈呈いたしました。

氏名 松丸望亜

所属 東京都市大学

受賞内容 RI-PBに基づく新しい耐震設計体系のフレームワーク その12：非常用炉心冷却系システムのリスクのバランス化

氏名 瀬部芙美絵

所属 東芝エネルギーシステムズ株式会社

受賞内容 EAL（緊急時活動レベル）発信タイミングを考慮したコホート毎のリスク評価

(敬称略)

リスク評価分野の更なる発展のためには、リスク評価に必要な多様な技術を開発するとともに、リスク評価から得られる情報を的確に分析し、安全性の向上等に効果的に活用する人材が不可欠です。リスク部会の若手部会員の皆様、原子力学会の学生会員の皆様には、専門知をより一層深め広げるためにも、研究・技術開発等にかかる活動の成果を積極的に学会の場で発表し、学会に集まる多くの専門家と議論することをお願いいたします。

(4) ASRAM2022の開催報告（国際小委員会）

<http://risk-div-aesj.sakura.ne.jp/newsletter.html>

2022年11月30日～12月2日にかけて、対面及びオンライン併用のハイブリッド形式で、韓国テジョン広域市でASRAM2022（Asian Symposium on Risk Assessment and Management、リスク評価とマネジメントに関するアジアシンポジウム 2022）を開催した。本シンポジウムには日本、韓国、中国、米国から、オンライン参加者も含め計約125名が参加し、計58件の発表があった。原子力分野におけるリスク評価及びリスクマネジメントの研究者及び利用者が活発に意見交換を行い、さらに学生にとっては研究成果を発表する貴重な機会となった。

詳細については、[ニュースレター“ASRAM2022 特集”](#)に掲載しています。ぜひ部会HPをご覧ください。

(5) リスク情報の活用にかかるご意見を募集します（予告）

(広報・出版小委員会)

リスク部会では、原子力発電所や原子力関連施設の継続的な安全性向上のために、より積極的にリスク情報を活用していくための研究開発や技術体系構築、国内外動向調査、国際協力活動をはじめ、研究者・技術者の交流と育成を行なっておりますが、その一環として部会員やリスク情報の活用に関心を持つ方による「リスク情報の活用」にかかる意見交換や議論を行う場を設けたいと考えております。

具体的なことは、今後、部会HPで適宜お知らせいたしますので、引き続き部会HPに注目ください。

(6) 令和5年度リスク部会運営体制（役員名簿）

（敬称略）

役委員会	氏名（所属）	役割
部会長	成宮 祥介（JANSI）	<ul style="list-style-type: none"> ・部会及び小委員会を統括 ・原子力学会代議員
副部会長	白井 孝治（電中研） 丸山 結（JAEA）	<ul style="list-style-type: none"> ・部会長の補佐
幹事	各小委員会の委員長	
総務・財務 小委員会	<ul style="list-style-type: none"> ◎桜本 一夫（電中研） ○木村 竜介（日立GE） ○国政 武史（関電） ○杉野 弘樹（MRI） 	<p>（総務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務 ・部会の開催等 ・他の小委員会が所掌しない事項 <p>・部会等運営委員会委員</p> <p>（財務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会の予算策定、管理及び決算
企画・研究 小委員会	<ul style="list-style-type: none"> ◎丸山 結（JAEA） ○氏田 博士（アトバソリフ） ○河合 勝則（MHINSIツグ） ○張 承賢（北大） ○今井 俊一（東電HD） 	<p>（企画・戦略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会の活動方針・戦略案の作成 ・活動方針・戦略に従った企画・執行 <p>（研究）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究を活性化させるための活動の企画・遂行に関する事項 <p>（人材育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成、研究者・技術者の裾野を広げるための企画、活動
国際小委員会	<ul style="list-style-type: none"> ◎菅谷 淳子（JANUS） ○白井 孝治（電中研） ○高田 孝（東大） ○田原 美香（東芝ESS） ○村上 朋子（エネ経研） 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議等の開催 ・国際協力窓口 ・国外学協会との交流
広報・出版 小委員会	<ul style="list-style-type: none"> ◎牟田 仁（都市大） ○蛭沢 勝三（電中研） ○倉本 孝弘（NEL） ○竹田 敏（阪大） ○當房 拓朗（東芝ESS） 	<p>（広報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会報、ニュースレターの発行 ・ホームページの作成・管理 <p>（出版・編集）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文、論文集、教材などの出版・編集 ・編集委員会幹事会委員

◎：委員長、○：副委員長

(7) 今後の活動

リスク部会が主催・共催している講演会、企画セッション、学術会議等、直近のイベントをご紹介します。

日本原子力学会2023年春の年会

リスク部会企画セッション[標準委員会、土木学会原子力土木委員会共催]

外的事象に対する原子力安全の基本的考え方の実効的な取り組み

日時：2023年3月14日（火）13:00～14:30

場所：東京大学駒場キャンパス C会場(11号館2F 1106)

https://confit.atlas.jp/guide/event/aesj2023s/session/2C_PL/detail

学術会議

PSA 2023 (NPIC&HMIT 2023 and PSA 2023 Co-Located Meetings)

日時：2023年7月15日（金）～21日（金）

場所：米国テネシー州、ノックスビル

<https://www.ans.org/meetings/npic13psa2023/>

(7) 編集後記

リスク部会の第11号の部会報をお届け致します。

リスク部会報は、半年に一度、その期間での活動内容の報告・紹介につき、広報・出版小委員会にてとりまとめて発行をしています。記事の作成につきまして、お忙しい中で御協力いただいた方々、大変ありがとうございました。

今後とも、様々な活動を通してリスクに関する情報の発信を行っていきたいと考えています。時事のトピックに関しては、部会報に加えて、ニュースレターの発行も随時行っていければと考えております。

部会報、ニュースレターへの原稿等は随時受け付けておりますので、リスク部会員の皆様からの寄稿もお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

部会報、ニュースレター、及び部会HPへのご意見、ご要望、ご質問等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せください。

E-mail: kanji@risk-aesj.sakura.ne.jp

リスク部会の HP: <http://risk-div-aesj.sakura.ne.jp/index.html>

原子力学会員の方は、どなたでもリスク部会にご入会いただけます。リスク部会への入会をご希望の方は、原子力学会Web サイトの部会入会ページ (<http://www.aesj.net/activity/divisions>) から行えます。